

温泉津と 大久保石見守長安

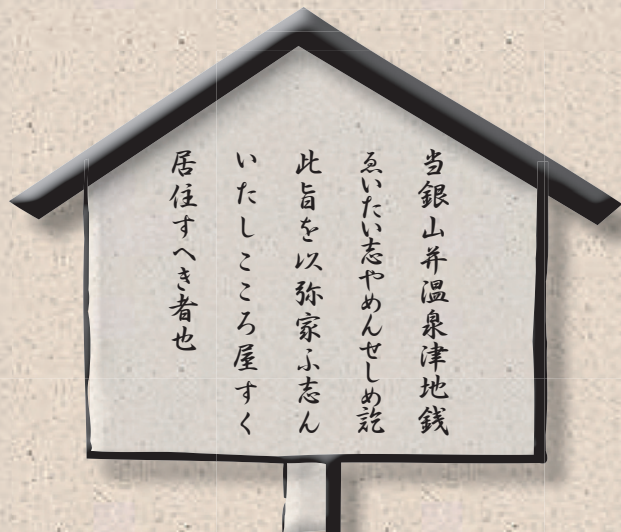
【と き】 平成24年4月24日(火)

開演：午後1時～午後4時 [開場12時30分]

【ところ】 温泉津まちづくりセンター [大ホール]

【入場料】 500円

- ミニコンサート 雲龍 <笛奏者>
- 研究発表 東京 八王子大久保長安の会
- 講 談 「くにづくりの人 大久保長安」
講談師 神田 織音



地銭永代赦免の高札



主催 大久保石見守長安顕彰事業実行委員会 共催 大田市文化協会
後援 島根県 大田市 大田市教育委員会 大田市観光協会

石見銀山遺跡とその文化的景観世界遺産登録5周年事業実行委員会

問い合わせ先 温泉津まちづくりセンターTel0855-65-1522 / 湯里まちづくりセンターTel0855-65-3038
福波まちづくりセンターTel0855-65-2941 / 井田まちづくりセンターTel0855-66-0711

チケット取扱先 温泉津ふれあい館 (大田市温泉津町小浜イ 493-1) 0855-65-3151
ゆうゆう館 (大田市温泉津町温泉津イ 791-4) 0855-65-3595

解説

【温泉津と大久保石見守長安】 慶長7年（1602）、徳川家康は長安を銀山奉行に任じ銀山経営にあたらせた。その石見銀山の開発を物資供給面で支えたのが移入港の温泉津であった。その温泉津で長安が実施した「石見国総見地」と「地銭永代赦免」の施策は目をひく。「石見国総見地」が大きな混乱も無く完了した理由は、住民の崇拜する寺社に証拠書類を提出させ、実地の測地検分を省略したことで住民の精神的なよりどころの寺社を体制内に取り入れる等の細心の配慮がなされている。又「地銭永代赦免」は温泉津・小浜村の地検終了後、「地銭（宅地税）は永代にわたり赦免するから家を建て安心して居住せよ」という高札（条例）を公布する等、今で言う大胆な産業振興・定住策を講じた。当時、衰微していた温泉津は、こうした施策によって問屋が成立し廻船も入港し次第に居住者が増え銀山への物資輸送が円滑となり銀山の繁栄を支えた。

出演者プロフィール

【雲龍】 鞍馬山、吉野、富士山、出雲大社等様々な場所で「笛」を演奏。横笛をはじめ土笛、ネイティブアメリカンフルート等の演奏も手がける。1997年より細野晴臣 with 環太平洋モンゴロイドユニットのメンバーとして活躍し、以後、横浜美術館イサムノグチ展、インド釈尊誕生の聖地、NHKドラマ「ウォークス」、熊野本宮大社「開寅祭」、ヒマラヤの山々など国内をはじめ世界での演奏活動の場を広げ活躍中。

【神田織音】 高校時代より芝居の勉強をはじめその後芝居の世界で活動。1999年神田香織に入門し、講談協会に所属する。NHKラジオで活動。2011年には真打に昇進。現在では企業や商品を講談でPRしたり講談を活用した地域情報の発信も手がけている。講談は個人芸ですが、より多くのお客様に知ってもらおうと女性講談師5人でユニットを組み、定期的口演活動中。

会場付近 案内図

